

保険料率の引上げにより 赤字額は5億3400万円に減少

●23年度事業

疾病予防事業を充実

23年度は健康診断へ血液検査を追加し、また、婦人健診の対象年齢を30歳に引下げ等、疾病予防事業の充実を図り、各種事業について事業計画に沿って円滑に実施されました。

●23年度収入支出決算

健康保険（一般勘定）

○収入総額	160億7400万円
○支出総額	155億2500万円
○収支差引額（決算残金）	5億4900万円
*予算総額	161億7000万円

収入 保険料率の引上げで 保険料収入は増収

23年度は、積極的な事業所編入を行ったことにより、被保険者数は前年度比375人増の3万1870人（年間平均）となり、保険料率を引上げたことから、保険料収入は同比23億7300万円増、対予算でも6900万円増の146億8100万円となりました。

支出 保険給付費、納付金等は さらに増加



第104回組合会のもよう

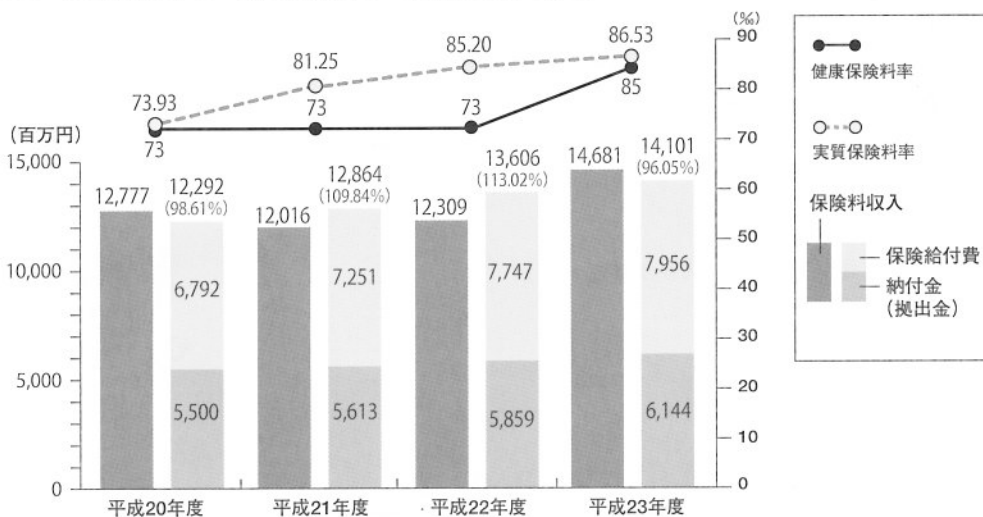
例年7%程度の伸びを示していた保険給付費は、27%の伸びにとどまり、前年度比2億900万円増、対予算では2億9500万円減の79億5600万円となりました（保険料収入の56・4%）。

また、組合財政を圧迫する要因のひとつである納付金等は、総額で前年度比2億8600万円増の61億4400万円となっています（保険料収入の41・9%）。

なお、健診や健康づくり事業を行った保健事業は、同比1300万円増の5億7800万円となりました。主に特定健康診査、特定保健指導、人間ドック等の疾病予防費にあてられています。

第104回組合会が6月21日（休）に開催され、平成23年度事業報告、収支決算等について承認をいただきました。以下に収支決算の概要をご報告します。
（本文中の決算額等は百万円未満四捨五入で表記しています）

図 保険料収入・保険給付費・納付金等の推移



*保険給付費・納付金の合計額の（ ）内は保険料収入に対する割合。